

# 当院の看護師が大切にしていること

## 『患者さんの思いを聴き、意思決定を支える』

1. 患者さん・ご家族の思いや希望をもとに  
今後の方針・各職種の間わり方、関わった結果などを共有しています
2. 言語的コミュニケーションが困難な患者さんにご家族の思いに沿った看護を目指し、多職種で支援方法を検討しています
3. 患者さん・ご家族を支える院内の様々なチーム活動に参加しています
4. 患者さん・ご家族の思いに沿った看護を目指して  
思いを確認するツールを体験し、支援方法の向上を図っています

# 1. 患者さん・ご家族の想いや希望をもとに 今後の方針・各職種の関わり方、関わった結果などを話し合います

【残りの時間を家で家族で過ごしたいと想いを話された患者】

## 医師

今後の病状予測  
退院後の注意事項  
往診医への引継ぎ事項など



カンファレンスの一場面

## MSW(医療ソーシャルワーカー)

社会福祉事業への引継ぎ事項  
地域との連携、調整など

## 臨床心理士

患者の精神的ケア  
心理的ケアを踏まえた  
関わり方など

当院には  
リエゾンナースが  
います

## 看護師

患者・家族の想いの代弁者  
病気のことや生活について  
退院後の生活を踏まえた援助の提案  
訪問看護など社会サービスの引継ぎ事項  
家族サポートの必要性 など

## 薬剤師

使用中の薬剤に  
関する注意事項  
退院後の薬剤管理  
など

## 療養指導員・保育士

患者への関わり方  
ご家族へのサポート  
など

## 理学療法士・作業療法士 言語聴覚士

現在の筋力・歩行状態  
動作時の注意事項  
嚥下状態・介助の方法など

## 管理栄養士

食事の形態の工夫  
栄養指導の必要性 など

## 2. 言語的コミュニケーションが困難な患者さんにご家族の思いに沿った看護を目指し、多職種で想いを確認しています

### ケースカンファレンスの一つ：臨床倫理の4分割法(ジョンセンの4分割法)の活用

ある症例(とくに生死に関わる判断の難しいもの)を検討するためのフレームワーク。

4分割の表にあるそれぞれのテーマについて情報を収集し、倫理的な問題についても話し合っています。

#### 臨床倫理の4原則

1. 自律性の尊重
2. 善行
3. 無危害
4. 公平・公正



#### 医学的適応 (Medical Indications)

##### 善行と無危害の原則

1. 患者の医学的問題は何か？ 病歴は？ 診断は？ 予後は？
2. 急性か、慢性か、重体か、救急か？ 可逆的か？
3. 治療の目標は何か？
4. 治療が成功する確率は？
5. 治療が奏功しない場合の計画は何か？
6. 要約すると、この患者が医学的および看護的ケアからどのくらいの利益を得られるか？ また、どのように害を避けることができるか？

#### 患者の意向 (Patient Preferences)

##### 自律性尊重の原則

1. 患者には精神的判断能力と法的対応能力があるか？ 能力がないという証拠はあるか？
2. 対応能力がある場合、患者は治療への意向についてどう言っているか？
3. 患者は利益とリスクについて知らされ、それを理解し、同意しているか？
4. 対応能力がない場合、適切な代理人は誰か？ その代理人は意思決定に関して適切な基準を用いているか？
5. 患者の事前指示はあるか？
6. 患者は治療に非協力的か、または協力出来ない状態か？ その場合、なぜか？
7. 要約すると、患者の選択権は倫理・法律上最大限に尊重されているか？

#### QOL (Quality of Life)

##### 善行と無危害と自律性尊重の原則

1. 治療した場合、あるいはしなかった場合に、通常の生活に復帰できる見込みはどの程度か？
2. 治療が成功した場合、患者にとって身体的、精神的、社会的に失うものは何か？
3. 医療者による患者のQOL評価に偏見を抱かせる要因はあるか？
4. 患者の現在の状態と予測される将来像は延命が望ましくないと判断されるかもしれない状態か？
5. 治療をやめる計画やその理論的根拠はあるか？
6. 緩和ケアの計画はあるか？

#### 周囲の状況 (Contextual Features)

##### 忠実義務と公正の原則

1. 治療に関する決定に影響する家族の要因はあるか？
2. 治療に関する決定に影響する医療者側(医師・看護師)の要因はあるか？
3. 財政的・経済的要因はあるか？
4. 宗教的・文化的要因はあるか？
5. 守秘義務を制限する要因はあるか？
6. 資源配分の問題はあるか？
7. 治療に関する決定に法律はどのように影響するか？
8. 臨床研究や教育は関係しているか？
9. 医療者や施設側で利害対立はあるか？





# 3. 患者さん・ご家族を支える院内の様々なチーム活動があります

【多職種が参加し、院内で活動しているチーム】

**KST**  
【筋ジストロフィー  
サポートチーム】



**緩和ケアチーム**



**NST**  
【栄養サポートチーム】



**認知症ケアチーム**



**RST**  
【呼吸ケアサポートチーム】



## 4. 患者さん・ご家族の思いに沿った看護を目指して 思いを確認するツールを体験し、支援方法の向上を図っています

### 【思いを確認するツールを体験してみる】

#### もしバナカードゲーム

『人生の最期にどうありたいか』を話します。  
誰もが大切なことだと分かっているながら、  
つい避けてしまいがちな難しいテーマを、  
ゲームを通して自分の考えや相手の考えを、  
話し合ったり共有したりすることが出来ます

#### 体験場面



感想:自分が何を大切に考えているか、意識する  
きっかけとなった。  
人それぞれに、大切なものが違うと思った。